

相原茂著 『午後中国語』

中里見, 敬
山形大学教養部 : 講師 : 中国語・中国文学

<https://hdl.handle.net/2324/6468>

出版情報 : 日中友好新聞. 1665, 1993-11-25. 日本中国友好協会
バージョン :
権利関係 :

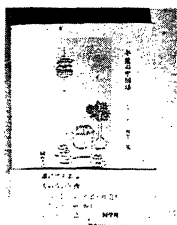
中国語・中国文学 わたしのすずめる本

8.3(3)

③

相原 茂 著『午後の中国語』

中里見 敬



「名著」の条件が、再読に堪え、しかも読むたびに新しい発見をとまなうものであるとするならば、私にとって『午後の中国語』は名著中の名著だといえる。学生時代から中国語を教えるようになった今日まで、何回この本を開いたかわからない。そして、そのときどきの関心に応じて、中国語の学び方、教え方、中国の文化、さらには専門的な言語理論、文化論に至るまで、様々な啓発を与えられてきた。

本書の前半は「教・学・ヒント集」と題して、経験に基づいた中国語学習のポイントが述べられている。とはいえ、主張はただ一つ、中国語では発音が何よりも大事だということである。朝起きたらまず中国語を朗読する、頭の中で独り会話をやってみる、こんなことをホントにやる気にさせるのがこの本の魅力である。

本書のもう一つの特長は、外国語教育法と言語学の成果が身近な例によって平明に説かれていること、その結果具体例を通して著者の言語観がひしひしと伝わってくる点にある。本書が初学者にも専門家にも満足できる内容を兼ね備えているゆえんである。

例えば、中国語の「雪」は、恵みの雪だということが紹介されている。乾燥した冬季の降雪は麦の豊作をもたらすから

だという。言葉の意味とは、言葉の指し示すもの、つまり「雪」なら空から降ってくる物理的気象現象だと一般には考えられている。ところが、現在の意味論研究によれば、「恵みの雪」という使われ方をするとということも、中国語の「雪」の意味の中に含まれていると考える。わかりやすい例でいえば、英語の 'an old house、'an old man、に対して、「古い家」とは言えても、「古い人」とは言えないように、'old、と「古い」は同じ意味ではないのである。

言葉を通した文化への洞察にも鋭いものが多い。例えば、中国ではものをもらったり、食事をおごられると、必ずその恩に報いることは、我々もよく知っている。この「還帳」（貸し借りを返す）という言葉は、個人レベルだけでなく、国家レベルでも同様に用いられるという指摘にはドキリとさせられる。日本人の中国に対する最大のツケが何であるかは言うまでもない。

私は4月に、同じ著者による『はじめての中国語』（講談社現代新書、1990年、600円）とともに『午後の中国語』を学生にすすめることにしている。

連休明けなどに、また100人近い学生を相手に中国語を教えなければならないのか、と思うときなど、教師にも弱気の虫が顔を出すことがある。そんなときこの本をめくって元気を回復するのが、私の『午後の中国語』の最も新しい読み方なのである。

同学社、1990年、1,800円

(山形大学教養部講師、中国語・中国文学)